

# 支援だより



平成28年度第9号  
平成29年2月1日  
神奈川県立中原養護学校  
支援連携グループ

新しい年を迎え、すでに1ヶ月がたちました。月日の流れがとても早く感じます。3学期はまとめの学期です。今年度の成果を振り返りながら、卒業や進級に向けて少しずつ準備をしていきましょう。

さて、今回の支援だよりは、イベント紹介、進路支援、校内外支援のコラムとなっています。ぜひご覧ください。

## イベント等紹介

うごいてあそぼう! かんじてあそぼう!

### joy☆joy festival

in 横浜市都筑スポーツセンター

共催：NPO 法人子ども応援ネットワーク  
横浜市都筑スポーツセンター

2017年 **3月19日** (日)

会場：横浜市都筑スポーツセンター

定員：1部・2部ともに100家族(先着順)

参加費：無料

持ち物：室内シューズ、履き物を入れる袋、  
動きやすい格好でいらして下さい。

申込：1/16～受付開始。定員になり次第、  
申込〆切

ひろ～い体育館で  
うごいて、かんじて  
いっしょに  
あそぼう!

#### 1部

12:00～13:40 (開場11:30)

障がいのあるなしに関わらず  
地域の子どもとその家族

#### 2部

15:30～17:10 (開場15:00)

障がいのある子どもとその家族  
(地域制限なし、中学生以下)

## コラム

「学校生活で一番楽しかったことは何ですか？」

この質問に皆さんでしたら、どう答えますか？

中原養護学校を卒業したある生徒は「自分たちで秋祭の舞台や卒業ライブ等、行事の内容を決めたことが一番楽しかった。」と答えたそうです。

さて、本校の金子栄養士にバランスのよい食事について出前授業をしてもらった時のことです。○×クイズ、自己献立を作るためのたくさんのメニュー表、更には実物の野菜を使って一日の摂取量を目の前で量ってみるなど、教材をいくつも持ってきてくれました。周りを気にしながらも、自分の意志で○×プレート上げた生徒が、正解して大喜びをしている姿、休み時間になって自分で野菜を量ってみたいと前に出てきた意欲的な生徒、たくさんのメニューの中から3色のバランスを考えて自分の好きな献立をキラキラした目で立てている生徒。どの場面でも、生徒自ら考えて取り組める内容であり、皆身を乗り出して興味津々。学ぶ喜びを心から感じているような表情でした。

自分を振り返って次のようなことを考えました。「過不足のない支援をしているだろうか。生徒ができるはずのことを、時間がないから、大人がやった方が早いからなどの理由で、又は知らず知らずのうちに、生徒の学ぶ機会を奪っていないだろうか。大人の「常識」で生徒の可能性や行動を制限していないだろうか。」

その後、生徒たちは学んだことを活かし、自分たちで好きな献立を考え、食材を買いに行き、自分たちで調理をして食べました。その味は格別だったことでしょう。どんな生徒も意欲をもって学んだ事は、自分の力となります。そんな成長を間近で見ることのできるこの仕事に感謝し、私自身も「意欲的」に学んでいきたいと思えます。



高A 瀬戸口 彩

支援だよりへのご感想、ご質問は  
e-mail : [nakahara01-sh@pen-kanagawa.ed.jp](mailto:nakahara01-sh@pen-kanagawa.ed.jp) まで!

中原養護学校ホームページ

[http:// www.nakahara-sh.pen-kanagawa.ed.jp/](http://www.nakahara-sh.pen-kanagawa.ed.jp/)

